

令和 6(2024)年 7 月 4 日

各位 様

シンビオ社会研究会第 2 回講演会開催のご案内

シンビオ社会研究会
会長 吉川 榮和

下記のように第 2 回講演会を開催します。今回は広めの部屋を予約しましたので都合のつく方は会場参加ください。

聴講歓迎・参加無料

令和 6 年度シンビオ社会研究会第 2 回講演会の案内

先端エネルギー科学のパブリックアウトリーチ

——我が国 GX グリーントランスフォーメーション実現に向けた課題——

◎日時：令和 6 年 7 月 24 日(水) 15 時 00 分～17 時 40 分 (開場 14 時 45 分)

◎場所：京都大学宇治キャンパス総合研究実験 1 号棟 4F 遠隔会議室(HW401)及び ZOOM による

◎交通：JR 奈良線黄檗駅または京阪宇治線黄檗駅下車 地図は [こちら](#)

◎主催：NPO 法人シンビオ社会研究会

◎共催：京都大学エネルギー理工学研究所ゼロエミッション (Ze) 研究拠点

◎共催：日本保全学会西日本支部

【趣旨】世界のエネルギー事情の変動は極めて激しいものとなりつつあるが、それに連動する我が国のエネルギー事情も大変流動的且つ不安定なものとなっている。そのような状況の中にあって、現在国において審議中の GX 戦略並びに第 7 次エネルギー基本計画では、再エネと並んで原子力のさらなる活用がめざされている。

そこで本講演会では、対象を原子力発電に絞った上で、①原子力発電に関する世界情勢と我が国が目指すべき方向性・課題の総覧と、②原子力発電所の高経年化対策の概要の 2 課題について議論の場を設けたい。

(講演会世話人：吉川 暹 副会長)

～～プログラム～～

総合司会進行：吉川 暹 理事

1. 開会の辞：吉川 榮和 会長 15:00-15:05

2. 講演 1 15:05-16:05

司会：森下 和功 理事

表題：「原子力発電に関する世界情勢と我が国の目指すべき方向性・課題」

講師：三島嘉一郎(みしま かいちょう) 氏 (京都大学名誉教授)

略歴：1968 年京都大学理学部物理学科卒業、1970 年京都大学大学院理学研究科物理第二学専攻修士課程修了、1973 年京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻博士課程単位取得退学後、1973 年より京都大学原子炉実験所に勤務。助手、助教授を経て 1996 年に教授・安全管理担当副所長に就任。この間、原子炉熱水力安全研究及びエネルギー科学研究科協力講座として教育に従事、2009 年定年退職、2009 年より株式会社原子力安全システム研究所技術システム研究所所長、2021 年同退職、同年より大阪科学技術センター顧問、関西原子力懇談会会長、現在に至る。



【講演要旨】昨年 12 月にドバイで開催された COP28 の結果を受けた世界情勢について触れたうえで、それらの世界情勢と我が国の GX 戦略を踏まえ、今後、我が国が目指すべき原子力の方向性（既設原子力発電所

の再稼動・長期運転、新型炉開発、新增設等)、そしてそれを実施するうえでの課題について述べる。

—————休憩 10分(16:05-16:15)—————

3. 講演 2.

16:15-17:15

司会：堀池 寛 理事

表題：「原子力発電所の高経年化対策の概要（新幹線との比較も交えて）」

講師：路次 安憲（ろじやすのり）氏

略歴：1968年京都大学理学部物理学科卒業、1970年大学院原子核工学専攻修士課程修了。同年三菱電機(株)入社。PWR型原子力発電所の電気・計装設計業務、建設業務に従事。2000年三菱電機を退職し通産省（現経済産業省）入省。原子力安全・保安院においてPWR、BWRの安全審査業務等に従事。2006年定年退官、三菱電機再入社。技術伝承業務、廃止措置業務等に従事。2021年同退職。



【講演要旨】我が国が目指すべき原子力の方向性の中で、喫緊の課題が既設原子力発電所の再稼動と長期運転であり、原子力発電所の長期運転を安全に進めるための枠組みが高経年化対策である。

ここでは、高経年化対策の考え方と法的枠組みについて触れた後に、中心課題である保全（点検・保守・新品や新システムへの交換等）の概要を、同様に重要な社会インフラである新幹線との比較も交えながら述べる。

4. 総合討論およびそのまとめ

17:15-17:35

モデレーター 堀池 寛 理事

二つの講演をベースに、我が国の今後の原子力エネルギー政策の現実的な実現性を深く掘り下げ、理解を深めるべく、識者による5分のコメントの後、フロアを交えた総合討論を行う。フロアからの質問、問題提起、Zoomでの参加者からのコメントを交えて進行する。

5. 閉会の辞

吉川 暹 副会長

17:35-17:40

散会

ZOOM講演会の案内と発表PPTのダウンロード案内は7月22日にメール案内の予定です。

講演会の出欠について

参加を希望される方は 準備の都合上、7月17日(水)までに、必ず下の出欠回答票にて事務局あてにご連絡ください。

—————回答票—————

令和6年度シンビオ社会研究会第2回講演会の参加回答票

氏名()
所属()
メールアドレス()
電話番号()

シンビオ講演会に (会場にて参加します Webにて参加します 参加しません)

★申込先：シンビオ社会研究会事務局 (symbio.reserch.office@gmail.com)

通信欄

住所・所属・メールアドレス・電話番号等に変更のあった方は、本便にて事務局までご連絡ください。

特定非営利活動法人 シンビオ社会研究会

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学エネルギー理工学研究所内

TEL/FAX 0774-38-3482

ホームページ：<http://sym-bio.jpn.org/>

E-Mail: symbio.reserch.office@gmail.com